

志小安全・防災だより



H31.4.22 No.3
安全・防災担当:早坂 潤

交通安全教室で歩行練習を行いました！

11日に、南三陸警察署、くろしお見守り隊、交通指導隊の方々の協力をいただき交通安全教室が行われました。だんだん暖かくなり、友達と一緒に道路を歩く子どもたちの姿も見られるようになりました。旭が丘に向かう新しい道路も間もなく完成です。交通安全教室を通して子どもたちに、正しく安全な歩行の仕方をしっかり学んでほしいと思いました。1,2年生は、担任の先生の後に続いて歩く練習、3年生以上は、前の友達と少し間隔を置き、周囲の様子にも目を配りながら安全に歩行する練習を行いました。1年生の子どもたちも、警察の方や見守り隊の方に横断の仕方を丁寧に教えていただきながら、かさをかぶり、長靴を履きながら最後まで頑張ることができました。高学年の子どもたちが山際を歩行をしていたときに、木が倒れてきたり、土砂が崩れてきたりすることにも気を付けなければならない話をしており感心しました。雨の中の交通安全教室ではありましたが、雨の中を歩くことで、身近にあるいろいろな危険に気付くことができたのではないかと思います。



交通安全教室後に、警察の方や見守り隊の方から反省事項として挙げられたことは、横断歩道では必ず一旦止まり左右確認をしっかりとすること、信号機をしっかりと見て横断すること（信号が点滅しているときは止まる）、前の友達に合わせて道路を横断するのではなく、自分の目でしっかりと安全確認を行うことです。今後もその都度教えていきます。

暖かくなり、山の動物も活発に活動し始めたようです！

地域の方より、畑仕事をしていたらカモシカが通り過ぎていった話や道路を横切ったカモシカの話をお聞かせいただきました。このところ中央団地近辺に出没しているようですが、学校にも何度か出没しています。先日は2頭も姿を見せました。子どもたちには、追いかけて回したり、近付いたりしないように話していますが、ご家庭においてもお声掛けをお願いします。



※ 家庭訪問期間で子どもたちの下校が早まっています。子どもたちの様子を見てみると、バスに乗るまでわくわく気分であり、下車後が心配なときがあります。また、徒歩通学の子どもたちも学校前を走って横断する子がいるので、注意を呼び掛けています。